

【教員氏名】

和栗 珠里

【単位数】

2 単位

【演習概要】

イタリア東北部に位置するヴェネツィアは、ラグーナ(潟)と呼ばれる浅い海の中に築かれた、世界にも類を見ない水上都市である。ここに誕生したヴェネツィア共和国は、アジアとの貿易で栄え、最盛期にはヨーロッパ随一の富を誇った。また、7世紀末から18世紀末まで1100年間の間、外国に支配されることも革命を経験することもなく、安定した政治体制を維持した。現在のヴェネツィアは、水没の危機にさらされながらも、観光都市として人気が高い。本講座では、この特殊な都市で人々がどのように生きてきたかを見ていく。

【学習目標】

我々は、政治・経済・文化から環境問題にいたるまで、さまざまな教訓をヴェネツィアの過去と現在から学ぶことができる。ヴェネツィアは、日本人にとっては遠い異国の町であるが、我々を取り巻く現代世界について考える格好の題材となるだろう。

【講義計画】

- 第1回：海之都ヴェネツィア
- 第2回：ヴェネツィアの誕生
- 第3回：水と生きる
- 第4回：環境の保持
- 第5回：有翼の獅子の旗のもとに
- 第6回：東地中海の女王
- 第7回：中世の“資本主義”
- 第8回：中世の“大工場”
- 第9回：異文化の融合と共存(1)
- 第10回：異文化の融合と共存(2)
- 第11回：ヴェネツィア・ルネサンス
- 第12回：観光都市ヴェネツィア
- 第13回：苦難の時代
- 第14回：“ヴェネツィアを救え”
- 第15回：総括

【成績評価の方法】

試験評価：80% 出席：20%

試験は定期試験で論述形式の出題を中心とする。出席は、抜き打ちの小テストを数回行い、その合計を成績評価の2割に換算する（毎回出席するのが原則であるので、たまたまその時ばかり欠席だったという訴えは受け付けない）。

【参考文献】

クリスチャン・ベック(仙北谷茅戸訳)『ヴェネツィア史』白水社、2000年。
陣内秀信『ヴェネツィア 一水上の迷宮都市』講談社、1992年。

【準備学習の指示】

参考文献のいずれかを読んでおくこと。